

メタリスキャナー™ MT 6

電子金属探知器

注意：

1. この製品は金属専用の探知器です。木製の梁や間柱、またはPVCパイプ等の非金属製の物質や素材は探知できませんのでご了承下さい。

2. この製品使用の際には、腕時計を含め、宝石類は一切外して下さい。宝石類に含まれた金属が探知に影響を及ぼし、正確な結果が得られない可能性があります。

5. 深度測定際高感度の再調整

MT 6 は電源が入ると自動的に調整を行いますが、コンクリート内の素材が金属や金属鉱物を含んでいる場合は、測定をする表面付近にどのような素材が使われているかにより、深度測定 of 感度に影響をきたすことがあります。この場合、深度を最終決定する前に、予め走査した場所でもう一度再調整を行うことによって、より正確な値を測定することができます。正確な位置は再調整に影響されません。

再調整を行うには：

• 走査表面上で、金属の無い箇所を探し出します。

注：コンクリート内の鉄筋のように、格子状の型が存在する場合は、金属の無い箇所の検出が難しい場合があります。この場合は、標的どうし of 中間点上 (中央) で調整を行うことにより、最良の結果を得ることが可能です。しかし、感度に影響が生じ、再調整によっても全体的な深度測定 of 感度が改善されない可能性もありますのでご了承下さい。

• 「PRESS TO RECALIBRATE (再調整)」スイッチを一度押して離します。液晶ディスプレイ上のインジケーターとサインが、調整中、瞬間的に点灯します。

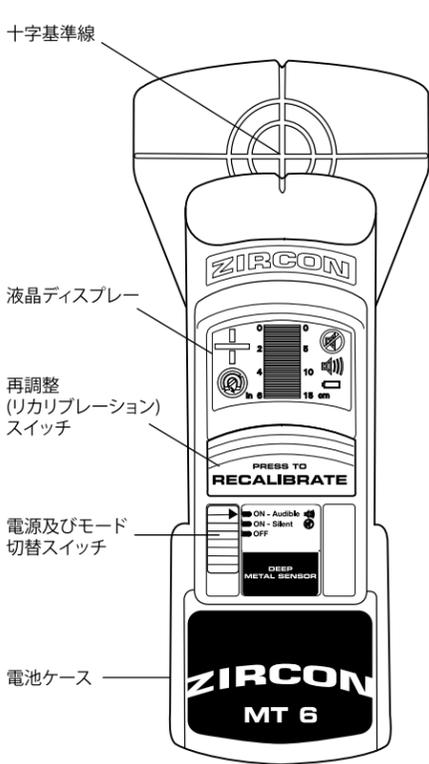
• 金属標的があると思われる表面を再走査します。これで深度 of 最終確定を深度インジケーターから得ることができます。

6. 深度測定精度と探知標的 of 大きさ

深度測定 of 精度は、直径 13 mm の銅管、または No. 4 (Ø 13 mm) の鉄筋 of 測定用に予めセットされています。その他の金属物質についてはこの精度は適用されません。

• 釘 of 頭 of ような小さな物質は、通常液晶ディスプレイ上の深度表示よりも浅い地点に位置します。

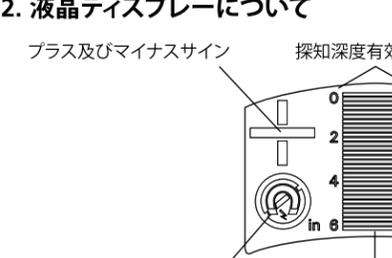
• No. 4 以外の鉄筋 of 深度測定は ± 25 mm の精度で行われます。



1. 電池交換 of 仕方

電池ケース of カバーをスライドさせながら開け、9V (ボルト) の角電池をクリップに接続します。電池をケース内に挿入し、カバーを元 of 位置に戻して閉めます。

2. 液晶ディスプレイについて



磁性及び非磁性インジケーター

液晶ディスプレイ (画面) には、探知状況と探知された金属物質 (標的) に関する情報を表示するインジケーターが搭載されています。

これらのインジケーターは、電池低残量インジケーター、オーディオサイン、オーディオ消去サイン of 3 つ of 要素で成り立っています。電池低残量インジケーターは、電池 of 残量が 5 時間以下になると表示されます。オーディオサインは、オーディオ・モードが ON になっている時は常時表示されます。オーディオ消去サインは、音声効果が遮断されているときに表示されます。

以下 of インジケーターは、探知標的に関する情報を表示します：

• 磁石 of 形をした磁性サインは、鉄 of ような磁気を帯びた物質を探知するとディスプレイ上に現れます。非磁性 of 物質 (例: 銅等) が探知された場合は、この磁石上に斜め of 直線が入った非磁性サインが

表示されます。どちら of サインも、表面から 15 cm 以内 of 深さにある金属を探知するまでは表示されません。

• 深度インジケーターは、探知標的 of 深さをわかりやすく表示します。この深さはインチ法とメートル法 of 両システムで読むことができます。深度インジケーターは、液晶ディスプレイ of 下方から現れ、本体が標的に近付くにつれて徐々に作動します。探知深度有効値は、探知した金属標的 of 上部表面までの距離を意味します。

• プラス (+) サインは、本体が金属標的に近付きつつあることを意味し、逆にマイナス (-) サインは、標的から離れつつあることを意味します。本体が静止状態にある時は、このサインは一番最近 of 動きに関する情報を提示します。標的を過ぎると、プラスサインがマイナスサインに変わり、短い音でこの変化をお知らせします (オーディオモード of 場合)。

• オーディオ (AUDIBLE)、またはオーディオ消去 (SILENT) of のどちらか of 位置にモード・スイッチを切り替えて、本体 of 電源を入れます。必ず空中で、金属から離して電源を入れて下さい。

注：本体が自動調整を行わない場合は、長い低音 of シグナル音が鳴り、全ての深度インジケーターが表示されます。この場合は、本体周辺に大きな金属物があるかどうかを確認して除去するか、本体を別の場所に移動してください。その後、本体 of 電源を再び入れます。

• MT 6 of 電源を切るには、モード・スイッチを OFF of 位置に切り替えます。

3. 電源 of 入れ方・切り方

3 種類 of モード切替スイッチで、MT 6 of 電源を出入力したり、オーディオまたはオーディオ消去操作が選択できます。

• オーディオ (AUDIBLE)、またはオーディオ消去 (SILENT) of のどちらか of 位置にモード・スイッチを切り替えて、本体 of 電源を入れます。必ず空中で、金属から離して電源を入れて下さい。

注：本体が自動調整を行わない場合は、長い低音 of シグナル音が鳴り、全ての深度インジケーターが表示されます。この場合は、本体周辺に大きな金属物があるかどうかを確認して除去するか、本体を別の場所に移動してください。その後、本体 of 電源を再び入れます。

• MT 6 of 電源を切るには、モード・スイッチを OFF of 位置に切り替えます。

9. 役立つヒント

• 直径 6.35 mm of 銅管は、実際の深度が表示よりも約 30% 浅い地点に位置します。

• 直径 19 mm of 銅管は、実際の深度が表示よりも約 20% 深い場合があります。

• 非常に浅い場所にある板金などの大きな金属物質は、金属タイプ (磁性か非磁性) が誤って表示される場合があります。

7. 注意

1. 電線付近で作業を行う時は、常に電源を切って下さい。

2. 複数の金属標的が至近距離にある状況では、金属各部分 of 正確な位置及び深さを検出するのが困難な場合があります。金属物質を含んでいる可能性のある壁や床、また天井で釘打ち、切断、またはドリル with の穴開け作業をする場合は、常に注意し、安全メガネを着用して下さい。

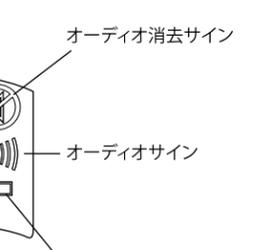
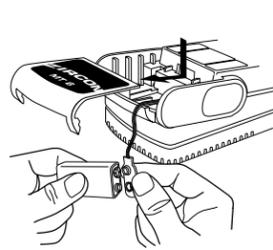
3. 磁性と非磁性 of 物質 (例: 鉄筋、銅管) が横に並んでいる、あるいは並んで上下に位置している場合、検出が困難な場合があります。

8. 特別に考慮する点

• **粗い表面：** 走査する表面上から砂や小石を取り除いて下さい。それでも走査表面上に凹凸がある場合は、表面と製品本体の間に薄いボール紙を一枚敷いて下さい。実際の深さを確定するには、読み取った深度からボール紙 of 厚さを差し引きます。

• **温度変化：** この製品は約 21°C で作動するように設計されています。感度は、高温でわずかに減少しますが、低温では特に影響を受けません。

• **非金属物質：** MT 6 は金属専用 of 探知器です。木製 of 梁や間柱、陶磁器 (セラミック)、または PVC パイプ等 of 非金属製 of 物質や素材は探知できませんのでご了承下さい。



磁性及び非磁性インジケーター

液晶ディスプレイ (画面) には、探知状況と探知された金属物質 (標的) に関する情報を表示するインジケーターが搭載されています。

これらのインジケーターは、電池低残量インジケーター、オーディオサイン、オーディオ消去サイン of 3 つ of 要素で成り立っています。電池低残量インジケーターは、電池 of 残量が 5 時間以下になると表示されます。オーディオサインは、オーディオ・モードが ON になっている時は常時表示されます。オーディオ消去サインは、音声効果が遮断されているときに表示されます。

以下 of インジケーターは、探知標的に関する情報を表示します：

• 磁石 of 形をした磁性サインは、鉄 of ような磁気を帯びた物質を探知するとディスプレイ上に現れます。非磁性 of 物質 (例: 銅等) が探知された場合は、この磁石上に斜め of 直線が入った非磁性サインが

表示されます。どちら of サインも、表面から 15 cm 以内 of 深さにある金属を探知するまでは表示されません。

• 深度インジケーターは、探知標的 of 深さをわかりやすく表示します。この深さはインチ法とメートル法 of 両システムで読むことができます。深度インジケーターは、液晶ディスプレイ of 下方から現れ、本体が標的に近付くにつれて徐々に作動します。探知深度有効値は、探知した金属標的 of 上部表面までの距離を意味します。

• プラス (+) サインは、本体が金属標的に近付きつつあることを意味し、逆にマイナス (-) サインは、標的から離れつつあることを意味します。本体が静止状態にある時は、このサインは一番最近 of 動きに関する情報を提示します。標的を過ぎると、プラスサインがマイナスサインに変わり、短い音でこの変化をお知らせします (オーディオモード of 場合)。

• オーディオ (AUDIBLE)、またはオーディオ消去 (SILENT) of のどちらか of 位置にモード・スイッチを切り替えて、本体 of 電源を入れます。必ず空中で、金属から離して電源を入れて下さい。

注：本体が自動調整を行わない場合は、長い低音 of シグナル音が鳴り、全ての深度インジケーターが表示されます。この場合は、本体周辺に大きな金属物があるかどうかを確認して除去するか、本体を別の場所に移動してください。その後、本体 of 電源を再び入れます。

• MT 6 of 電源を切るには、モード・スイッチを OFF of 位置に切り替えます。

表示されます。どちら of サインも、表面から 15 cm 以内 of 深さにある金属を探知するまでは表示されません。

• 深度インジケーターは、探知標的 of 深さをわかりやすく表示します。この深さはインチ法とメートル法 of 両システムで読むことができます。深度インジケーターは、液晶ディスプレイ of 下方から現れ、本体が標的に近付くにつれて徐々に作動します。探知深度有効値は、探知した金属標的 of 上部表面までの距離を意味します。

• プラス (+) サインは、本体が金属標的に近付きつつあることを意味し、逆にマイナス (-) サインは、標的から離れつつあることを意味します。本体が静止状態にある時は、このサインは一番最近 of 動きに関する情報を提示します。標的を過ぎると、プラスサインがマイナスサインに変わり、短い音でこの変化をお知らせします (オーディオモード of 場合)。

3. 電源 of 入れ方・切り方

3 種類 of モード切替スイッチで、MT 6 of 電源を出入力したり、オーディオまたはオーディオ消去操作が選択できます。

• オーディオ (AUDIBLE)、またはオーディオ消去 (SILENT) of のどちらか of 位置にモード・スイッチを切り替えて、本体 of 電源を入れます。必ず空中で、金属から離して電源を入れて下さい。

• 電源が入ると、この製品は即座に自動調整 (カリブレーション) を行います。

注：本体が自動調整を行わない場合は、長い低音 of シグナル音が鳴り、全ての深度インジケーターが表示されます。この場合は、本体周辺に大きな金属物があるかどうかを確認して除去するか、本体を別の場所に移動してください。その後、本体 of 電源を再び入れます。

• MT 6 of 電源を切るには、モード・スイッチを OFF of 位置に切り替えます。

9. 役立つヒント

• 直径 6.35 mm of 銅管は、実際の深度が表示よりも約 30% 浅い地点に位置します。

• 直径 19 mm of 銅管は、実際の深度が表示よりも約 20% 深い場合があります。

• 非常に浅い場所にある板金などの大きな金属物質は、金属タイプ (磁性か非磁性) が誤って表示される場合があります。

7. 注意

1. 電線付近で作業を行う時は、常に電源を切って下さい。

2. 複数の金属標的が至近距離にある状況では、金属各部分 of 正確な位置及び深さを検出するのが困難な場合があります。金属物質を含んでいる可能性のある壁や床、また天井で釘打ち、切断、またはドリル with の穴開け作業をする場合は、常に注意し、安全メガネを着用して下さい。

3. 磁性と非磁性 of 物質 (例: 鉄筋、銅管) が横に並んでいる、あるいは並んで上下に位置している場合、検出が困難な場合があります。

8. 特別に考慮する点

• **粗い表面：** 走査する表面上から砂や小石を取り除いて下さい。それでも走査表面上に凹凸がある場合は、表面と製品本体の間に薄いボール紙を一枚敷いて下さい。実際の深さを確定するには、読み取った深度からボール紙 of 厚さを差し引きます。

• **温度変化：** この製品は約 21°C で作動するように設計されています。感度は、高温でわずかに減少しますが、低温では特に影響を受けません。

• **非金属物質：** MT 6 は金属専用 of 探知器です。木製 of 梁や間柱、陶磁器 (セラミック)、または PVC パイプ等 of 非金属製 of 物質や素材は探知できませんのでご了承下さい。

• 自動電源オフ機能により、静止した状態が 5 分以上続けると自動的に電源が切れます。電源がオフになると、元 of 調整状態が解除されます。

4. 探知表面 of 予備走査

注 1：走査を行う前に、走査する表面から砂や小石を取り除いてください。

注 2：走査表面に凹凸がある場合は、表面と本体の間に薄いボール紙を 1 枚敷きます。この方法で走査を行う場合は、実際の深さを確定するにあたって読み取った深度からボール紙 of 厚さを差し引きます。

• 走査する表面から遠ざけて本体 of 電源を入れます。

• 本体を走査表面に置き、左右に動かします。標的に近付くと、深度インジケーター上により多く of 本数 of バーが表示されます。金属に最も近い位置では、プラスサインがマイナスサインに変わり、短い音が鳴ります (オーディオモード of 場合)。

• 検出される金属 of タイプは、磁性及び非磁性サインで表示されます。

• 一度標的が検出された後、MT 6 を (走査表面上で) 検出地点まで戻し、検出時 of 走査方向に対して垂直に走査し、標的 of 範囲を確認します。標的が棒またはパイプ管 of 場合、走査中 of 深度インジケーター表示はその長さに沿って一定 of ままとなります。

• 複数の金属標的が存在するかどうかを確認するため、走査を続けます。正確な深度が必要な場合は、再調整を行うために金属がない箇所を探し出します (次 of 項を参照)。

• 必要に応じて標的 of 検出位置に印を付けます。本体表側上部 of 十字型 of 基準線は、MT 6 of 最高感度地点を意味します。

状況	考えられる原因	解決方法
金属を正確に検出するのが困難。	• 金属どうし of 間隔が近過ぎて調整できない。	<ul style="list-style-type: none"> • MT 6 を使用 of 際、腕時計を含め、宝石類は一切外して下さい。また、可能であれば、大きな金属性工具を離れた場所に置き直す。 • 走査中は、一定して本体を走査表面に軽く押しながら使用する。 • 本体を 5°C 以上 of 温度差のある場所に移動する場合は、温度が安定するまで作動前に 5-10 分待つ (例: 冷房 of 効いた建物から戸外に移った場合)。
磁性及び非磁性物質が横に並んでいる、或いは並んで上下に位置しているために、調整及び (または) 深度測定が不正確。	<ul style="list-style-type: none"> • 金属標的 of 真上で調整が行われた。 • コンクリートと鉄筋が異なる時期に流し込まれた可能性のある箇所 で探知していることが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 正確に深度を確定するために、金属から離れた場所で調整を行う。5-7 cm ほど本体を移動させ、再調整を行う。 • 本体が走査している表面に触れていることを確認する。 • 走査全域に対して 1 回以上 of 調整を行う。各走査エリアを別々に予め予備走査する。調整後、各エリアにある金属標的 of 深度を確認する。 • 最高 of 感度で測定を行うために、コンクリートが完全に乾いていることを確認する。
自動調整が停止する。	• 本体 of 電源が切れている、或いはモードが変更された。	• モードを変更したり、本体 of 電源を入れた場合は、その都度再調整する。
金属標的に関係なくシグナル音が鳴る。	<ul style="list-style-type: none"> • コンクリート破片 of 端の近くで走査している。 • 金属標的が 10 cm 以上 of 深さにある。プラスサイン、マイナスサイン of 変更時と深度インジケーターが最大深度を表示する時が同時 of 場合、本体はシグナル音を発信しない。 	• シグナル音を無視し、深度インジケーターを参考にする。
本体が長く低い音を発し、ディスプレイ上 of 表示が元に戻らない。	• 調整上 of エラーが生じた。	• 本体 of 位置 (向き) を変え、再調整を行う。
電池低残量インジケーターが表示される。	• 電池 of 使用残量が 5 時間未満。	• 感度を維持するために、新しい電池と交換する。

FCC パート 15 クラス B 登録に関する注意

本装置は、FCC 規定 part 15 に準拠し、操作は次の二つの条件に応じています: (1) 本装置により有害な通信妨害を引き起こすことができない、そして (2) 本装置は、望ましくない操作を引き起こす可能性のある通信妨害を含め、受信する妨害を受け入れなければならない。

MetalliScanner、メタリスキャナー、Zircon、ジルコンは米国 Zircon Corporation の商標または登録商標です。

最新版 of 使用取扱説明書、または製品に関する詳細は当社ホームページ (www.zirconinternational.com) をご覧ください。

限定一年間保証
Zircon Corporation (以下「Zircon」とする) は、本製品をお買い上げになった日から一年間、その部品および仕上げ of どちらにも欠陥が無いことを保証します。保証 of 対象となる欠陥のある製品は、送料前払いの上、購入日を証明する書類を添えて、Zircon* まで送っていただくこととなります。このような製品については、Zircon of 判断により修理または交換をさせていただきます。この保証は、電子回路および製品本来 of ケースに限定されるもので、誤用、不適當な使用、不注意などによる損傷は特に除外されます。この保証は、明示または黙示でなく、その他全ての保証 of 代わりとなるもので、その性質に関わらずその他のいかなる表現や主張も、Zircon を拘束したり義務づけけることはないものとします。本製品に適用できる黙示 of 保証がある場合は全て、購入から一年間以内に限定されるものとします。本製品 of 所有、使用、または誤作動によって生じる特別損害賠償、付随的損害賠償、あるいは間接的損害賠償については、いかなる場合にもZirconが責任を負うことはないものとします。

(米国) 政府 of 規制に基づく勧告 of 事項
(i) 一部の州あるいは国においては、黙示 of 保証に対しては継続期間 of 制限、および付随的損害賠償または間接的損害賠償 of 除外や制限、あるいはその一方を認めていない場合もあり、その場合、上記 of 制限や除外が適用されないこともあります。さらに、(ii) この保証により、特定 of 法的権利が付与され、かつ州あるいは国によってはその他の権利が付与されることもあります。

修理・代替サービス
製品 of 取扱いには万全を期しておりますが、万が一製品購入後一年以内に修理あるいは代替サービス of 必要が生じた場合は、送料前払いの上、相当 of 製品を下記 of 宛先までお送り下さい。この際、お名前と返信用 of 住所を必ず表記してください。限定期間内 of サービスご請求 of 場合は、購入日を証明する書類 (日付付き of 領収書) を添えてお送り下さい。この書類 of 添付なしに請求された限定期間外 of サービスに関しては、修理後に代金引換 (着払い) によって返送させていただきます。

Zircon Corporation
*Attn: Returns Department
1580 Dell Avenue
Campbell, CA 95008-6992
USA

(米国) 政府 of 規制に基づく勧告 of 事項
(i) 一部の州あるいは国においては、黙示 of 保証に対しては継続期間 of 制限、および付随的損害賠償または間接的損害賠償 of 除外や制限、あるいはその一方を認めていない場合もあり、その場合、上記 of 制限や除外が適用されないこともあります。さらに、(ii) この保証により、特定 of 法的権利が付与され、かつ州あるいは国によってはその他の権利が付与されることもあります。

修理・代替サービス
製品 of 取扱いには万全を期しておりますが、万が一製品購入後一年以内に修理あるいは代替サービス of 必要が生じた場合は、送料前払いの上、相当 of 製品を下記 of 宛先までお送り下さい。この際、お名前と返信用 of 住所を必ず表記してください。限定期間内 of サービスご請求 of 場合は、購入日を証明する書類 (日付付き of 領収書) を添えてお送り下さい。この書類 of 添付なしに請求された限定期間外 of サービスに関しては、修理後に代金引換 (着払い) によって返送させていただきます。

Zircon Corporation
*Attn: Returns Department
1580 Dell Avenue
Campbell, CA 95008-6992
USA

カスタマーサービス
製品に関するお問い合わせやその他のカスタマーサービス of ご請求は、お手数ですが最寄 of 代理店、または下記 of 方法でZircon Corporation 本社までご連絡下さい。

電子メール: info@zircon.com
ホームページ: www.zirconinternational.com
TEL: +1 (408) 963-4550
FAX: +1 (408) 963-4597

本社営業時間は太平洋時間で午前8時から午後5時までとなっております。太平洋時間 of 日本からの時差は、標準時間期間中で+17時間、夏時間期間中で+16時間です。大変恐れ入りますが、今現在お電話でのお問い合わせは英語のみとさせていただきます。

Zircon Corporation
*Attn: Returns Department
1580 Dell Avenue
Campbell, CA 95008-6992
USA

U.S. Patent 5729143
©2009 Zircon Corporation • P/N 63865 • Rev A 11/09

カスタマーサービス
製品に関するお問い合わせやその他のカスタマーサービス of ご請求は、お手数ですが最寄 of 代理店、または下記 of 方法でZircon Corporation 本社までご連絡下さい。

電子メール: info@zircon.com
ホームページ: www.zirconinternational.com
TEL: +1 (408) 963-4550
FAX: +1 (408) 963-4597

本社営業時間は太平洋時間で午前8時から午後5時までとなっております。太平洋時間 of 日本からの時差は、標準時間期間中で+17時間、夏時間期間中で+16時間です。大変恐れ入りますが、今現在お電話でのお問い合わせは英語のみとさせていただきます。

Zircon Corporation
*Attn: Returns Department
1580 Dell Avenue
Campbell, CA 95008-6992
USA

U.S. Patent 5729143
©2009 Zircon Corporation • P/N 63865 • Rev A 11/09

保証書

タスコ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に通常のお取り扱いで万一故障が生じた場合は、下記の保証規定により無償で修理いたします。この保証書を添付の上ご依頼ください。(送料等諸掛りはお客様のご負担となります。)

保証規定

保証期間中に生じた故障は、下記の場合を除いて無償で修理いたします。

1. 取扱説明書によらない不適切な取り扱い、使用方法、保管方法が原因で生じた故障
2. 購入後の運搬や輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障
3. 当社もしくは当社が委託した技術者以外の改造、修理、分解が原因で生じた故障
4. 火災、地震、水害、公害及びその他の天変地異が原因で生じた故障
5. 傷などの外観上の変化
6. その他当社の責任とみなされない故障
7. 電池などの消耗品の交換、補充
8. 保証書の提出がない場合

◎注意事項

- ・二次的な災害におきましては本製品の故障による場合でも保証できませんのでご注意下さい。
- ・当社で故障の状態を確認し、上記に該当する場合は有償とします。
- ・輸送中に損傷が生じないように梱包し、当社もしくはご購入販売店にお送りください。

品名	メタルスキャナー MT-6
品番	TA404RD
製造番号	
保証期間	購入日(年 月 日)より1年間
お客様	氏名:
	住所:
	電話番号:
販売店	店名:
	住所:
	電話番号:

※ 販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

◎注意事項

- ・上記の保証規定をよくお読みください。
- ・この保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- ・この保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。



株式会社 イチネン TASCO

〒577-0002 大阪府東大阪市稲田上町1-17-20

TEL.06-6748-9260 FAX.06-6748-9270

<http://www.tascojapan.co.jp/>

この製品の使用方法に関する技術的なご質問は、**タスコカスタマーサポートセンターへ TEL 06-6748-9240**